



お江戸舟遊び瓦版 1109号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティ・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

江東区議会傍聴「千石3丁目町データセンター建設計画」に注目！！

はじめに：2025年度第2回本会議を傍聴した。

- 6/11 本会議 6/25 企画総務委員会、
6/30 厚生委員会、建設委員会、7/1 文教委員会
7/3 防災まちづくり委員会、 7/7 本会議

《注目された点、質疑等》

6/11 本会議

- ・大久保区長：長期計画に沿い、子供まんなか子育てベースに住みよい江東区をつくり上げたい。
- ・菅谷：データセンター計画はヒートアイランド化に寄与すること等から取りやめるべきだ。

6/25 企画総務委員会

- ・パートナーシップ制度等に関する陳情は10本を超す中、審議不十分で、継続審議となった。

6/30 厚生委員会

- ・化学物質、電磁波問題、障害者支援、ワクチン問題、特養ホーム、児童館、給食への有機食材導入問題、日常生活自立支援、保育士問題等の多数の陳情と、ヤングケアラー周知シンポジウム等々課題が多く、特に保育士、訪問介護士不足が大きな課題で、抜本的な検討対策が必要と指摘された。保育園の定員割れ問題、子育て支援団体への助成を求める陳情の議論が続いた。

6/30 建設委員会

- ・亀戸-新木場 LRT 構想など交通問題の陳情審議が続く中、新規の

「江東区千石3丁目のデータセンター建設に関する陳情」が出され、長時間審議が続いた。

@：江東区大規模建設計画・データセンター建設方針には、**浸水対策**、**放熱対策**等を検討する。

N：業者から丁寧に説明させるということを守って欲しい。@判りやすく説明するよう指導する。

N：**大量の電力消費量**など問題が多く、区のゼロカーボン方針と矛盾しないか？注視したい。区としてデータセンターに対する条例を作り、注視するべきだ。@**正式な住民説明会を開催**する。

Na：先行している塩浜地区では少し調整が進んでいると聞くが？@説明を重ね一歩進んでいる。

Na：千石にも説明が必要だ。千石まちづくりの観点からもマイナス要因は排除すべき。

@**千石まちづくりとの整合性**を検討したい。

I：実際の**影響不明のまま建設するのは問題だ**？ 区の認識を問いたい。都の承認工事で、区は住民に寄り添って、責任をもって進め、水害には充分配慮すべき。 @：放熱の影響など、

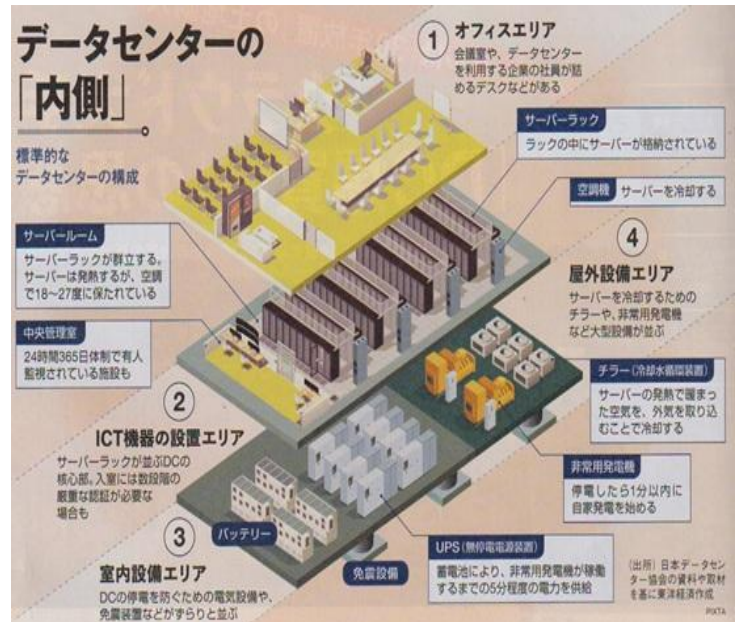
住民への説明をもって対応する。 @：今後検討を進める。

議長：インド・インターナショナル・スクールへの説明は？ @：学校への説明を検討する。

議長：**マスコミ**が入ってくると難しくなるかと思うので十分検討して欲しい。ユーチューバー対策も考えるべきだ。**千石まちづくりに水を差すようなことがないよう**注意して欲しい。

@：まちづくり対策と齟齬がないよう進めて行く。

(注) @は区役所の説明



出典：週刊東洋経済 2/15

7/1 文教委員会

- ・ GIGA スクール端末、放課後児童クラブ、給食への有機食材導入問題、区立幼稚園の今後のあり方等 20 件を超す陳情について審議され、略継続に。

7/3 防災・まちづくり対策特別委員会

- ・ 江東区のすべての地下鉄に浸水安全対策を求める陳情、防災対策のさらなる充実を求める陳情、江東区総合防災訓練に「水害避難訓練」の追加を求める 3 陳情については継続審議となった。

- ・ (仮称) 大島 4 丁目エリアまちづくり方針 (素案)

S: 住民は、今後も住み続けたいと考えている人が多く、建設工事の中身が知らされていない。説明が不十分だ。

@ UR の計画で、区は丁寧な説明会などを指導する。UR からは段階的に整備すると聞いている。

S: 浸水対応型まちづくりについては良く判らない。理解できない。大手デベロッパーの住宅価格が急上昇している。富裕層しか入れない。@マンションの高騰を区も認識し、事業者と協議する。

S: まちづくりがタワマン中心で住民の為ではない。浸水対応型まちづくりというが、荒川氾濫は 3 週間はダメ、特にタワマンは下水道もダメと言われている。避難所の再検討、備蓄品準備、区職員対応等を区はどう考えているのか? @水害時の問題は避難行動計画で対応する。

S: 防災対策は最悪事態対応するよう進めて欲しい。 T: 外国人に対する防災対策を十分配慮願う。

(参考) 先の委員会における亀戸 2 丁目団地一帯における浸水対応型拠点エリアのイメージ



《検討課題》

① 地下鉄 8 号線の浸水安全対策、さらなる対策の充実を求める区議会陳情

荒下『荒川氾濫』には、荒川が決壊し、地下鉄内にも浸水し、地下鉄は危険この上ない!

- ② DC・データセンター建設: 許認可は都であり、区は詳細な情報は得ていないようだ。大規模マンションが隣接する、荒川氾濫の浸水の危険性が高い、液状化地域に、AI 推進のために多大な放熱など問題の多い事業を建設することは全く不合理で、住民に寄り添った対応が必要だ。

DC は、AI 事業に必要な GPU (画像処理装置) サーバーが電力を大量に消費し、原発再稼働に繋がりがねない、大企業などが巨大投資を行い、国家の覇権をめぐる争いにまで発展している。国内での新設計画が相次ぐ中、その巨大なハコの実態はまさしく“ブラックボックス”で、企業などの利用者から預かったデータやシステムを保管運用する専用施設という。千葉県印西市の地震強い土地で作られた。しかし、周辺地域への影響などは不明で、大量の電力消費、多大な放熱量、振動、騒音など抜本的な課題が大きいと指摘されている。工業発展のためには是が非でも必要とばかりに爆増しつつあるようだが、スイスの氷河が融け、村が崩壊と聞く等課題は大きい。地球温暖化対策の抜本的検討 (マイカー削減、循環型ライフスタイルなど) が必要だ。

所感: 南海トラフ地震に結び付きそうなトカラ列島地震等、災害列島を痛感させられる今日。直近にも襲来しそうな荒川氾濫対策が今ほど必要な時はない。今後は、区民の生命を最優先に、誰ひとり取り残さない、安心安全な江東区・地域社会づくりを進めて行かねばならない。DC 建設ではなく、農林水産業・製造業・土建業ベースの循環型ライフスタイルが今こそ大切だ。(文責 中瀬)